1 動作環境

エージェント本体は Python3 で記述しています。パッケージは numpy, scipy, pandas などを使用しています。通信などについては公開されている Harada さんの AIwolfPy のものを使用しています。

2 起動方法

- 1. AIwolf を人狼知能 HP より DL
- 2. 適当な場所に展開
- 3. StartServer.sh を実行、人数を決め、Connect をク リック
- 4. python3 agent_nea.py -h localhost -p 10000 を実行

人数合わせのために他の java エージェントなどをつな ぐ場合は StartGUIClient.sh を実行するとすぐにできる

3 メソッド

3.1 talk

turn 制で、生存プレイヤが全員一斉に発話する。return で話す内容を指定する。プロトコル部門では contentbuilder のメソッドを返し、自然言語部門では文字列を返す。

3.2 whisper

人狼が 2 人以上生存している場合にのみ実行可能。 人狼にしか送信されない talk。 return で話す内容を指 定する。プロトコル部門では contentbuilder のメソッド を返し、自然言語部門では文字列を返す。

3.3 vote

処刑対象の指定。return で投票対象のエージェント 番号を指定する。

3.4 attack

人狼のみ可能なメソッド。return で攻撃先のエージェント番号を指定する。

3.5 divine

占い師のみ可能なメソッド。return で占い先のエージェント番号を指定する。

3.6 guard

狩人のみ可能なメソッド。return で護衛先のエージェント番号を指定する。

3.7 initialize

ゲームの初期化時に呼ばれるメソッド。

3.8 update

更新情報がある時に呼ばれるメソッド。Java 版と挙動が異なるため注意。daily_finish や request を内包する。

3.9 dayStart

前日のいろいろな結果が来るメソッド。

3.10 finish

ゲーム終了時に呼ばれるメソッド。何故か2回呼ばれるらしい。

4 データ構造

4.1 base_info

辞書型で基礎的な情報すべてを保持している。initialize や update 時に渡される。

agentIdx 自身のエージェント番号

myRole 自身のエージェントの役職

roleMap 役職の dict。他のエージェントの役職が確定的に わかる場合 (人狼の場合など) はここに入る

statusMap エージェントの静止を表す dict

remainTalkMap 生存エージェントのその日の残り発話可能回数を 表す dict

emainWhisperMap Agentのその日の残りの可能な囁き回数を表す dict

4.2 diff_data

pandas DataFrame で、ゲームに関わる情報を保持している。6 列存在し、agent, day, idx, text, turn, type がある。type によって内容の意味が異なる。

4.2.1 type = initialize, finish

agent = idx = agentIdx (自分自身) initialize の場合は day = 0 turn = 0 text = comingout 文

4.2.2 type = talk, whisper

agent = 発話者

day = 日付

 $idx = talk/whisper \mathcal{O} id$

turn = talk/whisper O turn

text = 発話文そのまま

4.2.3 type = attack_vote, vote

agent = 投票対象

idx = 投票者

turn = 0 再投票時は-1

text = vote/attack 文

4.2.4 type = execute, dead

agent = 死者

idx = turn = 0

text = Over

4.2.5 type = divine, identify, guard

agent = 能力の対象

idx = 能力使用者

turn = 0

text = devined/identified/guarded 文

4.2.6 type = attack

agent = 襲擊対象

idx = turn = 0

text = attack 文